

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
1	<p>1 市長公約と今後の市政運営について</p> <p>2 今後の復興事業と防災関連事業について</p>	<p style="text-align: right;">1 番 菊地 昌夫</p> <p>(1) 第六次長期総合計画の将来指標については、少子高齢化の影響により乖離が生じている。中間年の令和6年度に行う見直しは、同年度内の早期に実施し、基本構想の将来指標の数値や基本計画の主要施策について、実現可能な実効性のある将来計画に更新すべき。</p> <p>(2) 選挙運動用資料「20年先の名取のために」の中の「子育て・教育先進都市へ」には「勉強や運動、文化芸術面で一人ひとりが持つ可能性を最大限に伸ばせるまちを目指し、環境の充実に努める」とある。一人一人の可能性を伸ばすため、具体的にどのような施策を進めてきたのか。また、そのための今後の取組を伺う。</p> <p>(3) 「子育て・教育先進都市へ」の最大の課題である不登校対策の一環として、子どもの心のケアハウスを複数箇所に追加設置すべき。</p> <p>(4) 災害に強いまちへ、地域防災力向上のため、インクルーシブ防災という誰一人取り残さない防災の仕組みとして、地域レベルでの要援護者名簿や個別避難計画の作成、さらに福祉避難所の設置など、きめ細かな避難の仕組みづくりを進めるべき。</p> <p>(1) 心の復興や生活再建支援など、今後の復興支援の在り方について、その課題をどのように捉えているか伺う。</p> <p>(2) 児童生徒と学校教職員の防災意識向上のため、防災教育のための授業時間の確保をはじめ、課外学習で他自治体の震災伝承施設の見学や、ICTを活用した災害オンライン授業等、継続的に学べる機会をつくるべき。</p> <p>(3) 復興事業の一環として、被災地の復興の姿をアピールするとともに、防災意識の伝承を目的とした本市の見学ツアーや、被災地でのイベントによる交流人口増加の取組を進めるべき。</p> <p>(4) (仮称)被災者支援の歩みを作成し、発災以来被災者支援に取り組んできた活動の歩みについて、後世に伝えるべく、市史として残すべき。</p> <p>(5) 被災者やその家族の生活状況を見守り、今後もきめ細かな支援を継続すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>教育長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
2	1 老障介護について	<p style="text-align: right;">8 番 齋 浩美</p> <p>(1) 本市の実態や認識は。</p> <p>(2) 成年後見制度の利用状況と課題は。</p> <p>(3) 国に対し、市長会などを通じて、自治体における老障介護の問題や課題などを提起し、関係する制度の改善や取組を求めるべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
	2 名取市震災復興伝承館の活用について	(1) 現在までの震災復興伝承館の利用・来場の状況と課題は。 (2) 閉上で復興・再建した企業と連携し、企業向け防災教育に活用すべき。	市 長 市 長	
	3 ごみ等のない気持ちよく歩けるまちづくりについて	(1) 地域での清掃活動の状況と課題は。 (2) 不法投棄の現状と課題は。 (3) 市内のタクシー会社や運送会社などと（仮称）見回り・広報連携協定を締結し、ごみの不法投棄の通報や情報収集、周知などをすべき。	市 長 市 長 市 長	
	4 下増田公民館改築における誰もが利用しやすい公共施設に向けての施策について	(1) 令和元年12月議会において、公共施設の新築や改築時に障がい者等の参画の推進を提言しているが、下増田公民館・下増田児童センターの改築では取り組まれたのか。 (2) 下増田公民館入り口にある福祉車両向け駐車場に屋根をかけ、また、スロープ付車両でも余裕を持って利用できるように、早急に改修すべき。 (3) 下増田公民館の改築に伴い、これまでに寄せられた意見や課題について取りまとめ、館腰公民館の改築時に活用すべき。	市 長 教育長 教育長	
3	1 学校法人に対する固定資産税の賦課徴収について	10番 吉田 良 (1) 地方税法第348条第2項第9号の規定の適用を受ける者に対し、申告書や事実証明書の提出等、どのような手続を求めているのか伺う。 (2) 非課税規定の適用対象となる固定資産であるかどうかの判断の根拠となる、各学校法人の教育活動に関する状況把握の現状を伺う。 (3) 令和5年度に、非課税規定の適用を受けている学校法人名を全て伺う。 (4) 宮城県総務部私学・公益法人課が発行する宮城県私立学校名簿に、本市内に学校が所在することが記載されていない学校法人について、教育活動の実施状況を調査し、活動の実態が認められない場合は課税すべき。 (5) これまで非課税としてきた取扱いについても、適切な対応であったのか検証すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	
	2 分煙施設の整備について	(1) 市が設置する主な喫煙所の場所を伺う。 (2) 市が設置する喫煙所における受動喫煙対策は、どのように行われているのか伺う。 (3) 特別交付税措置等を活用し、多くの人が利用する公共の場所に分煙施設を整備すべき。 (4) 中小企業を対象とする国の受動喫煙防止対策助成金に上乗せする形で、本市としても一部助成すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
4	1 宮城県の4 病院再編構想に ついて	5番 板橋 美保 (1)仙台赤十字病院と県立がんセンターの統合による新病院を本市に整備することについての現状を伺う。 (2)東北労災病院と県立精神医療センターを合築し、新病院を富谷市に整備することについての現状を伺う。 (3)富谷市における移転候補地取得をどう捉えているか。また、本市における移転候補地取得の方向性を示すべき。 (4)県立精神医療センター移転については慎重に対応すべき。	市 長 市 長 市 長 市 長	
5	1 防災対策に ついて 2 選挙の投票 率向上について	7番 大久保 主計 (1)通学路における危険ブロック塀の周知などについて、市長部局と教育委員会はどのように連携して課題の解決に取り組んでいるのか。 (2)危険ブロック塀の場所を地図上で明確に示し、情報共有を図るべき。また、所有者の経済的な状況を考慮し、補助金の増額など柔軟な対応を図りながら、危険ブロック塀等除却事業を加速すべき。 (3)非常時に飲料水を供給できる学校のプールや貯水槽等の箇所数と管理状況は。 (4)非常時における飲料水の供給について、なとりマップを活用した見える化を行い、地域の中で訓練や共有を図り、いざというときに市民が使えるようにすべき。 (1)期日前投票所を名取駅コミュニティプラザに増設することがいまだに実現しない理由は。 (2)国民主権の観点から、期日前投票所を名取駅コミュニティプラザに増設できるよう、人材や予算などの条件を整備し、投票率向上に努めるべき。	市 長 教育長 市 長 教育長 消防長 市 長 選挙管理 委員会 委員長 市 長	
6	1 会計年度任 用職員制度につ いて 2 県立精神医 療センターにつ いて	16番 小野寺 美穂 (1)本市における会計年度任用職員の配置と人数の実態は。 (2)再度の任用はどのように実施されているか。 (3)非正規公務員は女性が多く、賃金の低さから官製ワーキングプアという批判もある。賃金格差についてどう考えているか。 (4)非正規を正規化し、公から雇用の安定を確保するために、国に対し実態の調査と普通交付税算定に用いられる正規職員数の増を求めるべき。 (1)本市のみならず、仙南地域における県立精神医療センターの存在意義や担っている役割について、どう考えているか。	市 長 市 長 市 長 市 長 市 長	

順位	質問事項	質問の要旨	答 弁 を 求める者	備 考
		<p>(2) 県立精神医療センターは、本市には必要ないという見解を持っているのか。</p> <p>(3) 村井知事が言及した民間の精神病院の誘致について、実現可能と考えているか。</p> <p>(4) 県立精神医療センターの移転を許容すべきではない。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
7	<p>1 学校給食費について</p> <p>2 補聴器購入費助成制度の導入について</p>	<p style="text-align: center;">3番 笹森 波</p> <p>(1) 学校給食費無償化に段階的に取り組んできたが、今後どのように進めていくのか検討した内容を伺う。</p> <p>(2) 令和5年度当初予算では、学校給食1食当たり10円の値上げ分を、保護者負担軽減のため公費負担とした。さらに、6月補正予算では、物価高騰により賄材料費が増額措置された。今後も、保護者の負担増にならないよう公費負担の対応を継続すべき。</p> <p>(3) 学校給食費完全無償化を早急に進めるべき。</p> <p>(1) 加齢性難聴者の補聴器購入費助成制度の導入について、どのように検討されてきたのかを伺う。</p> <p>(2) 聴力低下により日常生活に支障のある高齢者を対象に、社会参加や地域交流を促すことを目的として、補聴器購入費助成制度を早急に導入すべき。</p>	<p>市 長</p> <p>市 長 教育長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p> <p>市 長</p>	
8	<p>1 市民のスポーツ活動を応援する取組について</p> <p>2 財源確保について</p>	<p style="text-align: center;">9番 菅原 和子</p> <p>(1) 子供からお年寄りまで誰もが気軽にできる身近なスポーツとしてマラソンがある。本市でも市民マラソン大会を開催すべき。</p> <p>(2) 各種スポーツ大会の全国大会などに出場した個人・団体に対して報奨金を交付しているが、交付額を増額すべき。</p> <p>(1) 市の財産の有効活用による財源確保のため、ネーミングライツ・パートナーの募集を図るべき。</p> <p>(2) ふるさと納税推進のため、各自治体がまちの魅力を発信しながら個性ある返礼品の工夫に努めている。川崎町では一日町長体験を行っており、島根県海士町では隠岐神社の手拭いを返礼品にしている。本市でも地域の魅力を発信しながら、需要を捉えた返礼品写真を随時更新するなど、PRの工夫に努めるべき。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>市 長 教育長 市 長</p>	